

～He280 ジェット試作戦闘機



[同じくハインケル社の He162 と→]

本機 He280 は、ハインケル社が 1941 年 3 月に初飛行したドイツ空軍の試作戦闘機です。ハインケル社は 1938 年に He178 試作ジェット機の飛行に成功し、この機体で実用化に大きく踏み出しました。なにせ英国空軍初のグロスター・E.28/39 パイオニアの初飛行は、He280 の初飛行より遅い 1941 年 5 月ですから、ドイツ空軍は大きな時間的アドバンテージを持っていました。ただし、やはりネックはジェットエンジンで、ハインケル社はフォン・オハインが中心となり自前の、遠心式のハインケル・ヒルト HeS8 エンジンを開発しましたが、未だ信頼性を欠き、結局ドイツ空軍は軸流式のユモ 004 を搭載した Me262 を待つことにしたため、ジェット戦闘機の実戦配備まで 1 年ほどの時間的ロスを生じさせてしまいます。機体性能としては良好だったようで、Me262 の登場までのツナギとして実戦配備すれば、戦局もいくらか違ったものになったかもしれません。なお、この機体は射出座席を装備したことで先進的で、戦争末期にハインケル社が開発した、操縦席後部上方にインテイクが開口する He162 ジェット戦闘機には必須の装置だったわけですから、その技術が活かされたということでしょう。

【模型について】

チェコの RS モデル製 1/72 です。数年前にリリースされました。地味な機体からでしょう、それまでフーマなど、これまたマイナーな簡易インジェクションキットやバキュームキットしかありませんでしたから、当時、よくぞリリースしてくれた、という感じでした。キャノピーが厚いのが難点ですが、射出座席のモールドは良好です。(中川裕幸 2021 年 11 月)